

記載例

松戸市発注工事の入札における工事費内訳書作成の注意事項

- 対象
全ての建設工事

- 記載事項

入札参加者名（入札参加者の住所、商号、代表者氏名）、工事名、工事場所、内訳項目及び各項目に対応した金額（※）を記載し、代表者印を押印してください。ただし、電子入札システムを用いて内訳書を提出する場合のみ、代表社印の押印を省略可とします。

※ 金額が0円の項目がある場合には、金額欄に「0円」と必ず記載すること。

- 内訳項目

原則	(1) 設計図書の本工事費内訳書に表示された項目と同一の内容で『レベル2』又は『科目別内訳』までを記載。 (2) 上記(1)の項目に加えて、以下の項目を必ず記載すること。 材料費、労務費、法定福利費（建設工事に従事する者の健康保険料等の事業主負担分）、安全衛生経費、建設業退職金共済契約に係る掛金 (参考－第2号様式)
市長が必要と認める工事	(1) 設計図書の本工事費内訳書に表示された項目と同一の内容で『レベル4』又は『中科目別内訳』までを記載。 (2) 上記(1)の各項目に対応する単位、数量、単価及び金額（単価と数量を乗算したもの）を記載。 (3) 上記(1)、(2)の項目に加えて、以下の項目を必ず記載すること。 材料費、労務費、法定福利費（建設工事に従事する者の健康保険料等の事業主負担分）、安全衛生経費、建設業退職金共済契約に係る掛金 (参考－第1号様式)

なお、上記記載を要する項目に加えて、さらに項目の詳細を記載することは差支えありません。

- 様式

- ・ 工事費内訳書の様式は自由とします。

- 工事費内訳書取扱

- ・ 工事費内訳書は返却しません。また、引換え、変更又は取り消しは認めません。
- ・ 工事費内訳書未提出、未記載、工事名や工事場所が確認できないもの、入札金額と工事費内訳書記載の金額が不一致のもの、明らかな違算（※）など、「松戸市発注工事の入札における工事費内訳書取扱要領」別表に該当する場合は無効とします。

(※) 明らかな違算の例

- ・ 内訳書中の四則計算の誤り
- ・ 工事費内訳書様式（第1号様式、第2号様式）下欄の「材料費」と「労務費」の合計金額が、上欄の「直接工事費計」の金額を超えている など。

- その他

- ・ その他については、入札公告及び「松戸市発注工事の入札における工事費内訳書取扱要領」によります。

記載例

第1号様式

(宛先)
松戸市長
松戸市教育委員会教育長

必要項目の記載があれば、独自の様式を用いることを妨げません。

誤字、脱字なく記載すること。

所在地
商号又は名称
代表者氏名
代理人氏名

印

工事費内訳書

電子入札システムを用いて内訳書を提出する場合は押印不要。

内訳は細別（レベル4）まで記載すること。

工事名	〇〇工事
工事場所	松戸市〇〇

工事区分・工種・種別・細別等	単位	数量	単価	金額	摘要
道路改良工事				XX, XXX, XXX	
道路土工				X, XXX, XXX	整数表記し、各計と一致させること。
土工				X, XXX, XXX	
掘削	m ³	XXX	XX, XXX	XXX, XXX	
路床盛土	m ³	XXX	XX, XXX	XXX, XXX	
法面整形	m ²	XXX	XX, XXX	XXX, XXX	
排水工				X, XXX, XXX	
管渠型側溝設置	m	XXX	XX, XXX	XXX, XXX	
集水樹設置	基	X	XX, XXX	XXX, XXX	
直接工事費計				XX, XXX, XXX	
共通仮設費 一式				X, XXX, XXX	
共通仮設費計				X, XXX, XXX	
純工事費				XX, XXX, XXX	
現場管理費 一式				X, XXX, XXX	
工事原価				XX, XXX, XXX	
一般管理費 一式				X, XXX, XXX	入札金額と一致させること。
スクラップ控除				▲XX, XXX	
工事価格（税抜）				XX, XXX, XXX	
工事価格（税抜）のうち、					
材料費				XXX, XXX	金額が0円の項目がある場合には、金額欄に「0円」と必ず記載すること。
労務費				XXX, XXX	
法定福利費（建設工事に従事する者の健康保険料等の事業主負担分）				XXX, XXX	
安全衛生経費				XX, XXX	
建設業退職金共済契約に係る掛金				XX, XXX	

記載漏れがないよう充分注意すること。

「値引 ▲XXX,XXX円」などの記載はしないこと。

金額が0円の項目がある場合には、金額欄に「0円」と必ず記載すること。

入札金額と一致させること。

整数表記し、各計と一致させること。

単位・数量・単価・金額を記載すること。

内訳は細別（レベル4）まで記載すること。

電子入札システムを用いて内訳書を提出する場合は押印不要。

誤字、脱字なく記載すること。

必要項目の記載があれば、独自の様式を用いることを妨げません。

所在地
商号又は名称
代表者氏名
代理人氏名

印

工事費内訳書

工事名	〇〇工事
工事場所	松戸市〇〇

工事区分・工種・種別・細別等	単位	数量	単価	金額	摘要
道路改良工事				XX, XXX, XXX	
道路土工				X, XXX, XXX	整数表記し、各計と一致させること。
土工				X, XXX, XXX	
掘削	m ³	XXX	XX, XXX	XXX, XXX	
路床盛土	m ³	XXX	XX, XXX	XXX, XXX	
法面整形	m ²	XXX	XX, XXX	XXX, XXX	
排水工				X, XXX, XXX	
管渠型側溝設置	m	XXX	XX, XXX	XXX, XXX	
集水樹設置	基	X	XX, XXX	XXX, XXX	
直接工事費計				XX, XXX, XXX	
共通仮設費 一式				X, XXX, XXX	
共通仮設費計				X, XXX, XXX	
純工事費				XX, XXX, XXX	
現場管理費 一式				X, XXX, XXX	
工事原価				XX, XXX, XXX	
一般管理費 一式				X, XXX, XXX	入札金額と一致させること。
スクラップ控除				▲XX, XXX	
工事価格（税抜）				XX, XXX, XXX	
工事価格（税抜）のうち、					
材料費				XXX, XXX	金額が0円の項目がある場合には、金額欄に「0円」と必ず記載すること。
労務費				XXX, XXX	
法定福利費（建設工事に従事する者の健康保険料等の事業主負担分）				XXX, XXX	
安全衛生経費				XX, XXX	
建設業退職金共済契約に係る掛金				XX, XXX	

記載漏れがないよう充分注意すること。

「値引 ▲XXX,XXX円」などの記載はしないこと。

金額が0円の項目がある場合には、金額欄に「0円」と必ず記載すること。

入札金額と一致させること。

整数表記し、各計と一致させること。

単位・数量・単価・金額を記載すること。

内訳は細別（レベル4）まで記載すること。

電子入札システムを用いて内訳書を提出する場合は押印不要。

誤字、脱字なく記載すること。

必要項目の記載があれば、独自の様式を用いることを妨げません。

所在地
商号又は名称
代表者氏名
代理人氏名

印

工事費内訳書

記載例

第2号様式

(宛先)
 松戸市長
 松戸市教育委員会教育長

誤字、脱字なく記載すること。

必要項目の記載があれば、独自の様式を用いることを妨げません。

所在地
 商号又は名称
 代表者氏名
 代理人氏名

印

工事費内訳書

工事名	〇〇工事
工事場所	松戸市〇〇番地の〇

内訳は工種（レベル2）まで記載すること。

電子入札システムを用いて内訳書を提出する場合は押印不要。

工種等	金額	摘要
工場製作費	X, XXX, XXX	
道路改良工事	XX, XXX, XXX	
直接工事費計	XX, XXX, XXX	
共通仮設費	X, XXX, XXX	
共通仮設費計	X, XXX, XXX	
純工事費	XX, XXX, XXX	
現場管理費	X, XXX, XXX	
工事原価	XX, XXX, XXX	
一般管理費	X, XXX, XXX	
工事価格（税抜）	XX, XXX, XXX	
工事価格（税抜）のうち、		
材料費	XXX, XXX	
労務費	XXX, XXX	
法定福利費（建設工事に従事する者の健康保険料等の事業主負担分）	XX, XXX	
安全衛生経費	XX, XXX	
建設業退職金共済契約に係る掛金	XX, XXX	

「値引 ▲XXX,XXX 円」などの記載はしないこと。

入札金額と一致させること。

記載漏れがないよう充分注意すること。

金額が0円の項目がある場合には、金額欄に「0円」と必ず記載すること。